

赤穂市女性交流センターだより

発行／赤穂市市民部市民対話課（☎43-6812・Fax43-6810）

女性交流センター（☎43-7800・Fax43-6810）

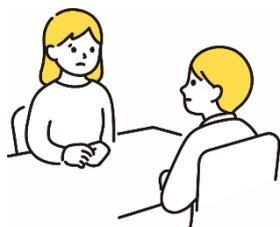


赤穂市女性
交流センター
QRコード

第27号 2024. 3



女性交流センターでは、
女性の様々な問題(悩み)に関する相談を
実施しています。(場所:市民会館3階)



女性問題相談(電話または面接相談)・・・毎週火曜日から金曜日

午後1時から午後4時(祝日・年末年始除く)

※予約は必要ありません

女性問題専門相談(専門カウンセラー対応)・・・毎月第4金曜日

午後1時から午後4時(一人50分)

※面接相談で予約が必要です。託児をご希望の場合はご相談ください。

令和6年度 女性問題専門相談日 日程

4月26日	8月23日	12月27日
5月24日	9月27日	1月24日
6月28日 21日	10月25日 18日	2月28日
7月26日	11月22日	3月28日

★ご予約は女性交流センター(TEL43-7800)

または市民対話課(TEL43-6812、FAX43-6810)まで。

女性が抱えるさまざまな悩みや問題を女性の相談員が女性の立場に立って受け止め、相談者自身が問題解決に向けての一步を踏み出せるようサポートします。お気軽にご相談くださいね。

おすすめの貸出図書



小学校高学年以上向けにわかりやすく書かれた「SDGsシリーズ本」から2冊紹介します。



1冊目は、目標1“貧困をなくそう”『みんなはアイスをなめている』(安田夏美・作)です。小6の陸は学校から帰って来ると、家事や妹の面倒をみて夕食のおかずを買いに行く。母親が用意してくれるお金は一日 500 円。普段はそれでなんとかしてきたけれど、急に妹の歯科治療で 500 円かかってしまった…。途方に暮れて陸が「…貧乏ってどうしたらいいんだろうな」とつぶやいていたのが印象的でした。



2冊目は、目標5“ジェンダー平等を実現しよう”『すし屋のすてきな春原さん』(戸森しるこ・作)です。伝くんがお父さんと一緒にお寿司屋さんに行くと、店内には女性のすし職人さんが立っていました。伝くんは、学校で「すし職人になりたい」と言っていた海江田さんが同級生に「すし職人は男の仕事だから無理だ」と言われていたことを思い出しました。お父さんに「すし職人が男の人ばかりなのは何故だと思うか」と聞かれて、伝くんは答えに詰まってしまいました…。

どちらの物語の中にも問題点・現状・具体的な目標などが織り込まれていて、気づきや疑問がわいてきました。皆さんも、ぜひ手に取って読んでみてください。



上記を含め、女性交流センターには、男女共同参画等に関する図書・行政資料をそろえており、誰でも自由に閲覧や本の貸し出しもできる情報図書コーナーがあります。また、活動や交流の場として利用できる会議室がありますので、ぜひご利用下さい。

やってみませんか？～音楽療法士さんに教えてもらった脳トレ～

左手はグーで前に出して・右手はパーで胸において

今度は反対に、右手はグーで前に出して・左手はパーで胸に

この動きを ♪うさぎとかめ♪ の歌に合わせてながら、手を交て行います。

♪もしもしかめよ かめさんよ…歌いながらできましたか？



今度は、前に出すのはパーで胸におくのはグーにします。

♪もしもしかめよ…と歌に合わせてながら、手をかえていきます。できていますか？

脳がパニック！そんな時は、ちょっと時間を置いてみるとできるかも。不思議ですね。



互にかえ

